

整理番号M-2501D 業務用薬用ハンドソープH5000  
アズワン株式会社

作成日： 2016年3月15日  
改訂日：

---

**安全データシート(製品安全データシート)**

---

**【1. 化学物質等及び会社情報】**

製品名	業務用薬用ハンドソープH5000
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀2丁目1番27号
電話番号	0120-700-875
FAX番号	0120-700-763
担当部門	カスタマー相談センター
緊急連絡電話番号	0120-700-875

---

**【2. 危険有害性の要約】**

皮膚刺激性	通常の使用条件下では有害性は極めて低い。 ただし、皮膚障害のある場合には症状を悪化させる可能性がある。
目に入った場合	目を刺激する恐れがある。
飲み込んだ場合	原液または希釈液をなめたり、一口飲んだ場合、刺激を感じる場合がある。

---

**【3. 組成、成分情報】**

単一製品、混合物の区別	混合物
有効成分	イソプロピルメチルフェノール
その他の成分	K石けん素地 アルキルグリコシド エデト酸塩 グリセリン プロピレングリコール エタノール pH調整剤 緑色201号 黄色4号

---

**【4. 応急措置】**

眼に入った場合	直ちに多量の流水で15分以上洗眼し、もし刺激が残っていれば、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに多量の水を飲ませるなどの応急処置を行った後、速やかに医師の診察を受ける。

---

**【5. 火災時の措置】**

消火方法	
(着火した場合)	不燃性である。
(周辺火災の場合)	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器および周辺に散水して冷却する。

消火剤

霧状水、水溶性液体泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項  
環境に対する注意事項

回収作業などに当たる者は、保護眼鏡等の必要な保護具を着用する。  
通常は、ウェスやモップ等で拭き取った後、水で洗い流してよいが、一度に大量の製品を公共下水道、河川や海洋に直接排出すべきではない。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

湿疹、皮膚炎（かぶれ、ただれ）等の皮膚障害がある時は、悪化させるおそれがあるので使用しない。  
赤み、かゆみ、刺激等の異常が出たら使用を中止し、皮膚科医へ相談する。使い続けると症状が悪化することがある。  
他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。  
用途以外には使用しない。

保管

子供の手の届かないところに保管する。  
他の品物と混同しないようにして保管する。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度  
許容濃度  
保護具

知見なし  
知見なし  
不要

【9. 物理的及び化学的性質】

外観  
臭い  
pH  
比重  
溶解性  
引火点  
発火点  
爆発範囲

緑色透明液状  
原料臭  
9.0~10.5(原液、25℃)  
1.01 (25℃)  
水と任意の割合で溶解  
なし  
なし  
なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性  
可燃性  
発火性  
酸化性  
自己反応性・爆発性

通常の実験条件においては光、熱、衝撃に対して化学的に安定  
なし  
なし  
なし  
なし

【11. 有害性情報】

急性毒性  
刺激性

製品としてのデータなし  
知見なし

---

**【12. 環境影響情報】**

分解性 知見なし

---

**【13. 廃棄上の注意】**

水質汚濁防止法の排出基準に従うこと。

---

**【14. 輸送上の注意】**

栓のあるところを上にして積載する。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

**【15. 適用法令】**

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

医薬部外品

労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるもの

エタノール 0.1%以上1%未満

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの

なし

---

**【16. その他】**

参考文献

石けん、洗剤、洗浄剤、仕上げ剤等誤飲・誤用の応急処置

財団法人日本中毒情報センター監修 日本石鹼洗剤工業会(2003)

記載内容の問い合わせ先

会社名

アズワン株式会社

住所

〒550-8527 大阪市西区江戸堀2丁目1番27号

担当部門

カスタマー相談センター

電話番号

0120-700-875

FAX番号

0120-700-763

---

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また、記載事項は通常の実用を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。